

令和3年 第5回真室川町教育委員会 会議録

令和3年8月23日（月）午後1時30分より、真室川町役場301会議室において令和3年第5回真室川町教育委員会を開催した。

1. 出席委員
教育長 門脇 昭
委員 遠田 且子
委員 山田 敏一
委員 鮭延三枝子
委員 中塚 聖子

2. 事務局出席者
教育課長 高橋 雅之
指導主幹 早坂 真紀
学校教育係
課長補佐 山田 千穂
生涯学習係
課長補佐 佐藤 正美
子育て支援係
課長補佐 栗田 猛

3. 会議案件
日程第1 前回会議録の承認について
日程第2 教育長事務報告について
日程第3 報告
日程第4 議案第30号
令和3年度（令和2年度事業分）真室川町教育委員会事務・事業
点検評価の報告について
日程第5 議案第31号
令和3年度教育予算補正案の原案について
日程第6 その他
日程第7 閉会

4. 会議の経過

教育長 委員の定数を満たしておりますので、ただいまから令和3年第5回真室川町教育委員会を開催いたします。本日の案件は、日程第1から日程第7までとなっております。よろしく申し上げます。はじめに、日程第1「前回会議録の承認について」となります。事前に資料は配布されているかと思いますが、なにかございますか。

教育課長 (一部前回会議録の訂正を説明)

教育長 他にはございませんか。なければ承認いただけますか。

一同 はい。

教育長 ありがとうございます。それでは、続いて日程第2「教育長事務報告について」を事務局から説明してください。

山田補佐 (学校教育係の事務報告及び予定を一括で説明)

栗田補佐 (子育て支援係の事務報告及び予定を一括で説明)

佐藤補佐 (生涯学習係の事務報告及び予定を一括で説明)

教育長 一括して説明がありましたが、みなさんから質問等ございましたら、お願いいたします。

中塚委員 高校生の親から学習スペースについての問い合わせがあり、公営塾の開放について紹介させていただきました。人を配置しなければならない等の問題もあると思いますが、公民館等も含め、土日開放してもらえるスペースがあればいいと思います。また、公営塾を開放した際の状況はいかがでしたか。

佐藤補佐 利用状況は、4日間で13:30から16:00まで開放し、延べ25名の利用がありました。ご指摘のとおり、人や場所についての課題があるので検討してまいります。

教育長 中央公民館の開放であれば検討の余地はあるでしょうか。

佐藤補佐 中公公民館の研修室などは、会議などの使用予定が入るので、前もって予約ができれば可能かと思えます。ただ、Wi-Fi環境がなく、公民館自体が老朽化している関係で年次で個別施設計画に基づき改修をしている状況であります。そのため、公民館全体の在り方についても検討していく必要があると感じています。

中塚委員 Wi-Fi環境がなくても、勉強できるスペースさえあればいいと思えます。

山田委員 真室川中学校の生徒が、町民体育館のトレーニングジムのテーブルでよく勉強している姿を見かけます。

遠田委員 見ている側の心情としては、空きスペースがあるところで勉強している方がいいのではないのでしょうか。図書室だと勉強のみになるが、オープンスペースであれば様々なことができ、利用者も多くなると思えます。

教育長 連合婦人会の方からも、もっとゆったり過ごせるような環境が欲しいとの要望があり、以前の館長室を開放しております。場合によっては、そこを使用していただければと思います。

山田委員 まちなか図書館構想に掲げる居場所の提供にニーズがあるように思います。

遠田委員 公営塾も開設してから3年になりますが、どこにあるかまだ知らない町民の方が多いように感じます。機会があるごとに周知していく必要があるように思います。

教育長 他にございませんか。

鮭延委員 読育交流会の内容を詳しくご説明ください。

佐藤補佐 読育交流会は、おはなし広場の読み聞かせ終了後に町内の読み聞かせサークルの方が集まって情報交換と交流をしているものです。

遠田委員 私も参加したのですが、読み聞かせをする上での課題となっていることはないかなど、情報交換をしました。

教育長 他にございませんか。

教育長 それでは日程第3「報告」を事務局より説明をお願いします。

教育課長 (中体連県大会、吹奏楽部大会結果、新聞掲載記事、感染拡大防止特別集中期間の対応、修学旅行について報告)

教育長 ご意見・ご質問はありませんか。

遠田委員 修学旅行は子どもたちにとってとても心に残るイベントだと思いますが、子どもたちの心情は把握していますか。

中塚委員 普段行けないようなところに友達と行けるとというのがベストですが、コロナ禍ということは理解しているようです。また、友達と行ればどこでもかまわないという声もあるようでした。話しを聞いていると行き先に関しては、そこまで意識していないのかもしれませんが。ただ行き先が決まらないと、事前学習や計画も立てられないので、そこに苦労しているのではないかと思います。

遠田委員 実施する、延期する等の決める過程においても、大人が一方的にするのではなく、中学生も関与しながら決定できるようになればいいなと思います。

教育長 学校でもできるだけ子どもたちの意向をくみ取ってきましたが、非常事態なのでどうしようもない所があるのも事実です。特に中学3年生は入試の時期もあるので時期の設定が難しく、学校でも工夫を重ねています。

教育長 他にございませんか。

教育長 それでは日程第4、議案第30号を事務局より説明をお願いします。

教育課長 (教育委員会外部評価の概要を説明)

山田補佐 (学校教育係の外部評価を説明)

栗田補佐 (子育て支援系の外部評価を説明)

佐藤補佐 (生涯学習系の外部評価を説明)

遠田委員 安心して過ごせる居場所づくりということで、スクールカウンセラーの個別面談が大変重要だと聞いたことがあるのですが、実際そのようなことはできているのですか。

指導主幹 真室川中学校には昨年度から2人のスクールカウンセラーが配置されています。昨年度の状況から言いますと、1人のスクールカウンセラーの先生は、コロナによる差別、いじめ、誹謗中傷について考える時間を各クラスに設けております。もう1人のスクールカウンセラーの先生は、これまで同様に生徒や保護者と面談する時間を設定しております。

遠田委員 「発育等の不安がある子ども」とあるが、どういうことなのかお伺いしたいです。

栗田補佐 ここでは平均的な身長などを指しており、実際いるということではなく、そういった不安に対して、専門家の指導による食生活や運動等によって改善していくという主旨になっています。

遠田委員 公営塾の拡大・充実と学習指導員、支援員の人材確保がかなり難しいとありますが、オンライン自習室との関係、人材不足の対応について、どういうことを考えていますか。

山田補佐 公営塾のオンライン自習室は、受講生が塾に来なくても、決まった日時にオンラインで講師と繋がり、学習相談などができる環境を作っているもので、新たに講師を増やしたというものではありません。学校の学習指導員は教員免許をお持ちの方となり、確保したいのですが、現状は教員免許のない学習支援員を配置しているところもあります。そうした教員免許をお持ちの方を確保するのが難しいという評価をしたところで

遠田委員 ふるさと検定に関連してですが、町の歴史、自然、文化いろいろなことについて、私たちがよく知らないもの、知らされていないものがあると思います。歴史関係であれば調べられていると思いますが、遺跡や希少動物など開発のために調査もされずに埋められているということもあり得ます。表立って調べている人も見当たらないので、なにか調べておく必要はないのかと心配しています。

佐藤補佐 町指定文化財になっている中村湿原についてですが、ゴールデンウィークに県内の方が東京の友人を連れて、マルコガタゲンゴロウという虫の調査に来町されました。マルコガタゲンゴロウはレッドリストに載るような希少種のようなようです。調査終了後、報告書として町と県と環境省の方に提出いただいたわけですが、このままの状態管理して欲しいとの連絡をいただきました。遠田委員からもありましたが、きっと中村湿原だけではなく、そういうような場所は町内にも複数あるのだと思いま

す。すべて調査するのは難しいにせよ、そのような認識を持ち保護活動等に取り組んでいきたいと思えます。

教育課長 ふるさと学習については、一番力を入れている施策ですので、各小中学校が取り組んでいます。ふるさと検定については、モデル的にまず真室川小学校が取り組んでいます。学年ごとに分野をしぼって学習をし、その後、検定をしていく形と聞いております。終了後には、バッジ式の検定証など、子どもたちが楽しく学ぶインセンティブになるようなものを計画しているようです。形が見えてきましたら、また教育委員会の際に紹介させていただきます。

教育長 なにかご質問はございませんか。

鮭延委員 スクールカウンセラーの方は、中学校の生徒一人ひとりと面談をしているのですか。

指導主幹 全員が面談を受けたのかは確認しておりませんが、昨年度はコロナ禍で学校の始まりが遅かったこともあり、かなり過密なスケジュールだったと聞いております。また、スクールカウンセラーの方は毎日ではなく月に2回と出勤が決まっておりますので、かなり多忙だと聞いております。

鮭延委員 一人ひとりに与えられる面談時間というのは決まっているのですか。

指導主幹 時間まで把握していないので、確認してみたいと思えます。ただ、相談の内容的に心配なお子さんもおりますので、生徒によって時間はバラバラになるかと思えます。

遠田委員 子(個)を支える家庭学習のサポートですが、家庭学習をどのように取組ませるように対応しているのでしょうか。

早坂主幹 家庭学習は、先生方も毎回試行錯誤をしており重要なものだととらえております。そのため各学校によって取り組み方は様々で、発達段階に応じた学習の仕方ということで、自学の仕方の紹介や各児童に応じた学習のやり方を担任が指導していくというような取り組みをしています。ただ、そのことが本当に充実した家庭学習に対応できているのかと言われるれば難しさは感じております。

遠田委員 なにか事例があればいいと思えますし、1~2年生ではこういう内容をするというような、勉強法がないと広がらないと思えます。学校として、これだけは覚えて欲しいというものや、今日は何をすればいいのか、言ってもらえればやりやすいのではないかと感じます。

鮭延委員 孫の家庭学習を見ている限りでは、本人も何をしたらいいのかかわかっていない気がします。

中塚委員 中学校では年度の始めに、参考となるような自学ノートのコピーを渡してもらい、提示してもらっています。ただ、中学生になれば当然個人差が出てくるので、共通理解をしてもらえるのは難しいと思えます。そ

のため、小学校からの習慣化するのが大切だと感じます。

指導主幹

大事にしているのは、自立した学びですので、子ども自身が今日はこれをやる等、自分なりの意思決定をもって家庭学習に取り組んでいけるようなアイデアを交換する場を作りたいと思います。

教育長

家庭学習アンケートの調査結果を見ると、学習時間は全国平均や県平均を上回っています。そのため、大事になってくるのは質の問題だと思います。ただ、一番は家庭学習ではなく授業が基本だということを理解して欲しいと思います。授業が面白ければ家庭でももっと調べてみたくなる。そういう授業づくりを大事にしていきたいと思います。

遠田委員

安心して子育てができる環境づくりについてですが、子育ての補助や支援については大変充実して、保護者の方も助かっていると思います。ただ、子どもより保護者の指導といいますか、保護者が何を考えて子育てしているのかわからない等の声を、おばあちゃん世代からよく聞きます。環境づくりもそうですが、就学以前の子を持つ保護者に対する働きかけがあってもいいのではないのでしょうか。

栗田補佐

福祉課と生涯学習係と連携して、今年度から幼児期からのことば力向上事業に取り組んでいます。読み聞かせの部分から家族とのコミュニケーションを図り、家庭の教育力を向上させる取り組みに力を入れています。0歳からのブックスタート事業であったり、4歳の年中児検診等の際に読み聞かせ団体に来ていただき、1日1話の読み聞かせ本をプレゼントしたり、また、家庭教育推進事業ということで、保育施設に外部講師を招いて専門的な知識を保護者が学ぶ場を提供しています。

教育長

他にございませんか。なければ、議案第30号を議決することにご異議ありませんか。

一同

はい。

教育長

ありがとうございます。次に、日程第5、議案第31号を事務局より説明をお願いします。

教育課長

(令和3年度教育予算補正案の原案について一括して説明)

教育長

なにかご質問はございませんか。ご質問等お願いします。なければ、議案第31号を議決することにご異議ありませんか。

一同

はい。

教育長

それでは日程第6、その他はなにかございますか。

一同

ありません。

教育長

それでは日程第7、閉会となります。みなさんありがとうございます。ありがとうございました。

一同

ありがとうございました。